

## 情報公開文書

西暦 2025年 5月 5日作成

項目		
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	済生会横浜市南部病院の透析患者における便秘薬の使用実態調査
	研究対象者	2024年4月から2025年3月までに当院で慢性便秘症治療薬を使用している入院透析患者
	研究目的	慢性腎臓病患者の便秘症は腎機能悪化や心血管病変の発症、生命予後にも関連することが明らかとなっている。今回、済生会横浜市南部病院（以下、当院）における透析患者へ使用される便秘薬について、使用状況の実態調査を行ったため報告する。
	研究方法	2024年4月から2025年3月までに当院で慢性便秘症治療薬を使用している入院透析患者を抽出し、使用状況をカルテより後方視的に調査した。
	個人情報保護	研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。
	研究期間	倫理審査結果通知書公布日～2026年3月
利用する試料・情報の項目（チェック[X]のある項目を利用します）	[X]情報：	電子カルテ患者情報（後向き研究）
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	木村梨乃
	共同研究者	小林奈緒、加藤一郎
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。 病院代表：045-832-1111 担当者：薬剤部 木村 梨乃	